令和5年度鳴門市部長実行宣言【年度末達成状況報告】

消防本部

廣瀬 高

消防総務課・**予防課**・警防課・消防署



視 点 (該当する視点を選択)									
☑ 最重要	要課題		Ŧ	・ヤレ	・ンシ	۶	☑ SDGs取組推進		
			宣	言	項	目			
火災予防の推進									
	令和5年度目標						目標達成及び課題解決に向けた具体的取組		
・住宅用火災警報器設置 ・立入検査実施目標件数 (内訳) 防火対象物 危険物施設	615件	,			では、 ブ 発 防	パンフ 小学校 よる夜 図る。 火対	火災警報器の設置や適切な維持管理については、鳴門市のWebサイトフレット・広報ビデオの視聴継続、また、秋季火災予防運動行事で 校の金管バンドの協力を得て防火演奏を行い、年末には少年消防クラ 夜警を実施、更には、消防分団や婦人防火クラブ等と連携し周知・啓。 象物や危険物施設への立入検査については、予防課と消防署が連携 対象物の是正強化に取り組み、立入検査の件数増加を図る。		
, =	達成度 (100%以上) 〇:おおむね達成(70%以上100%未満) きなかった(50%以上70%未満)×:未達成(50%未						具体的取組の成果・今後の課題		
	・住宅用火災警報器設置率 89% ・立入検査実施件数 633件 (内訳)防火対象物 509件 (市内にある防火対象物の20 危険物施設 124件 (市内にある危険物施設の54		·		女②立計火め、	性消除者 が	火災警報器設置率は、おおむね達成であった。婦人防火クラブ、防団、小学生等と連携し周知・啓発を行った。 査では、実施計画に基づき月間の進捗状況を把握しながら、おおむねり実施することができた。 、早期発見が重要であり、住宅用火災警報器設置は最も有効であるたまも様々な機会をとらえ関係機関と連携し設置及び適正な維持管理の周まを行い防災意識の向上を図る必要がある。		

令和5年度鳴門市部長実行宣言【年度末達成状況報告】

消防本部

廣瀬 高

消防総務課・予防課・**警防課**・消防署

視 点 (該当する視点を選択)									
☑ 最重	要課題	チャレ	ンジ						
		宣言	項目						
救命率の向上									
	令和5年度目標		目標達成及び課題解決に向けた具体的取組						
 ・救急講習会 年間予定回数 80回 参加者目標 1,600名 ・心肺蘇生実施率 目標 45% 			①119番入電時、通信員の口頭指導による応急手当実施率向上 ②市民による応急手当実施率増加のため救急講習会の開催 ③小・中学生向けの救命講習を行い「スクール救命士」を養成 ④短時間(20分程度)で参加しやすい救急講習会の開催						
, = . _	達成度 ぱ(100%以上)〇:おおむね達成(70%以上100%未満) できなかった(50%以上70%未満)×:未達成(50%未満	i))	具体的取組の成果・今後の課題						
	 ・救急講習会 89回 ・参加者数 1,695人 ・心肺蘇生実施率 40% 		②③④新型コロナ を達成する事がて 意識の啓発を行う 救命率の更なる向	図の達成状況は40%となっており、概ね目標を達成できた。 一ウィルスの5類移行を受け、開催回数・参加人員ともに目標できた。今後も受講者のニーズに沿った講習会を展開し、救急がとともに、救急に対する知識の向上を図る。 可上のために、救命講習での啓発活動だけでなく、119番入電指令員による口頭指導技術の向上を行い、救える命をしっかづくりを図る。					